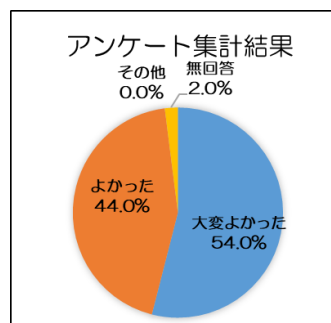


令和5年度 保幼小連携講座Ⅲ 保育所の保育について学ぼう

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期において育みたい資質・能力（3つの柱）及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿（10の姿）」を保幼小職員で共有し、育ちと学びの連続性について考え合う ・ 保育所の保育を参観し、保育所の保育について学ぶ ・ 乳幼児期から学童期への子どもの発達の過程を具体的な姿を通して知る ・ 保育所の保育について理解し合い、保幼小連携について考え合う
日時・場所	令和5年12月14日（木）14：30～16：30 協力園：昭徳こども園 場所：幼児教育センター 研修室
対象	乳幼児教育・保育施設職員、小学校教職員
内容	1. 実践発表 2. 協議 3. まとめ
まとめ	幼児教育センター 所長 古川公子

参加者（合計 50 名）			
保育所	幼稚園	認定こども園	小学校
18	4	24	4



【感想】

- ・ 「ただ小学校と交流すればいい」と頭で考えてしまっていたところ小学校の先生の「本当にこれで交流したことになるの？」という問いにハッとさせられました。一度立ち止まり本当に必要な事はどうするべきことなのか考え直そうと思えるきっかけとなりました。
- ・ 小学校の先生もいらっしゃったことで小学校側からの意見が聞けて（本音が聞けた気がして）とても実のある研修だと感じました。子どもたち同士の交流こそは増えてきたものの、大人側の連携についてはまだまだ「保幼小連携」という言葉だけが一人歩きしている現状（話し合いの末、このことに行きつきました。）なのでもっと気軽に話せる関係になればいいなと思います。
- ・ 幼児教育と小学校との接続をもっと進めていかないと、困るのは1年生の子どもたちです。小学校教員はもっと学び、変化を恐れず進んでいかななくてはならないと思います。ただ、変化に抵抗する教員は多いので繰り返し伝えていきたいと思います。

